

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-2-3		事業名	ごみ減量アクションプログラム支援事業
担当	環境局環境事業部ごみ減量推進課 濱中 Tel211-2928			
全 体 計 画				
事業内容	<p>平成17年3月に市民・事業者・札幌市の協働により設立した「さっぽろスリムネット」の一員として、会員である市民・事業者の意見に基づいた各種ごみ減量事業を展開するとともに、ごみ減量実践者を拡大していく。また、本市が未着手である分野において、先駆的に、実験的な事業を実施し、その成果に基づいたごみ減量施策を市政に提案していく。札幌市は、さっぽろスリムネットの活動の拡大に向けた組織体制の整備について、行政の立場で支援していく。</p> <p>当該事業には、リサイクル推進基金の運用益が活用されている。</p>			
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
事業内容・量・場所・規模・件数等	<p>平成17年3月に市民・事業者・札幌市の共同により設立した「さっぽろスリムネット」の一員として、下記の5つのプロジェクトにおいて、会員である市民・事業者の意見に基づいた、ごみ減量事業を展開し、ごみ減量実践者の拡大に取り組む。本事業には、リサイクル推進基金の運用益が充てられている。</p> <p>1 生ごみ減量プロジェクト:(1)生ごみ堆肥化器材の購入助成(ダンボール箱、密閉式容器、コンポスター等)、(2)生ごみ減量リサイクル講師の派遣、(3)生ごみ地域内循環活動支援事業、(4)生ごみリーダー養成講座、(5)生ごみ堆肥拠点回収事業、(6)家庭用廃食油資源化促進事業 2 紙ごみ減量プロジェクト:エコボックスの設置助成 3 容器包装減量プロジェクト:(1)オリジナルマイバックの作成・配布事業、(2)リユース+調査団 4 リユース実践プロジェクト:(1)「リユース広場」の開催、(2)リユースイベントの開催(「まつりだ、環っ！」、リユース広場「大感謝祭」)、(3)第4回サッポロカレッジリユースフェア 5 普及啓発プロジェクト:(1) 第3回さっぽろスリムネットフォーラムの開催、(2)買い物ゲーム出張講座の実施、(3)普及啓発活動(6イベントへ参加)、(4)古繊維製品資源化促進事業、(5)ホームページの更新 6 観察会の実施</p>			
規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<p>1 生ごみ減量プロジェクト:(1)生ごみ堆肥化器材の購入助成(生ごみ堆肥化セット:ダンボール箱、密閉式容器、コンポスター等)、(2)生ごみ減量リサイクル講師の派遣、(3)生ごみ地域内循環活動支援事業、(4)家庭用廃食油資源化促進事業、(5)生ごみ堆肥拠点回収事業 2 紙ごみ減量プロジェクト:エコボックスの設置助成 3 容器包装減量プロジェクト:(1)オリジナルマイバック普及事業 4 リユース実践プロジェクト:(1)リユース広場の開催、(2)リユースイベントの開催 5 普及啓発プロジェクト:(1)情報発信事業、(2)環境教育事業(買い物ゲーム出張講座、「おもちゃばくりっこ」事業)、(3)普及啓発活動</p>			

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-3		事業名	ごみ減量アクションプログラム支援事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数	7,049人	8,252人	11,343人	12,978人	5,215人	20,000人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 さっぽろスリムネットは、市民・事業者・行政の連携による活動組織であり、多くの市民の参加を得て、事業を展開している。また、事業には参加する市民の意見を反映させている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 該当なし [人材協力] 該当なし [情報協力] 該当なし [その他の協力] 市民・行政と連携することで、事業者のごみ減量に向けた自主的な取り組みの拡大が促進される。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり さっぽろスリムネットは、札幌市民や札幌市内で活動する事業者は誰でも参加することができ、参加する市民・事業者の意見に基づく、ごみ減量事業を展開している。</p>							
評価(成果)	課題						
<p>○「さっぽろスリムネット」が設立されたことにより、市民・事業者・行政が連携し、ごみ減量に向けた具体的な取り組みを推進・拡大するための体制が整備された。</p> <p>○平成22年度については、新ごみルールの導入により市民意識等が大きく変化していることからプロジェクトの見直しを行い、ごみ減量・資源化事業プロジェクトと普及啓発活動プロジェクトの2つに統合・整理を行った。</p> <p>○設立後6年目を迎える札幌市の事業とスリムネットの事業の境界が曖昧になっているため、事業内容を精査し、補助金事業は札幌市に移行し、スリムネットは普及啓発を中心とした活動を行っていくこととした。</p>	<p>これまで、市民・事業者等の様々な視点から見た数多くの先駆的・実践的なごみ減量に関する事業等を進めてきたが、事業を継続する中で、先駆性・実践性が失われつつある事業もある。今後については、より先駆的・実践的な事業を効果的に実施していくことで、ごみ減量実践者を拡充していく必要がある。</p>						
今後の事業の予定・方向							
会員である市民・事業者の意見に基づき、スリムネットが実施すべき先駆的・実践的な事業をより効果的に実施していく。札幌市は、さっぽろスリムネットの活動拡大に向けて、行政の立場で支援していく。							

様式イ

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)